

令和2年8月11日

学生各位

福岡教育大学
副学長(学生指導担当)
甲斐 純子

新型コロナウイルス感染症拡大防止に係る帰省等のあり方について

福岡県の新型コロナウイルス感染者の感染状況については、東京・大阪・愛知・沖縄等と並んで全国的に見て警戒を要すべき地域として連日報道されており、8月5日付けで「福岡コロナ警報」が発動されています。県内の大学では、「大学サークルのクラスター」が複数の大学で発生しており、多くの大学で感染者が確認されています。

お盆・夏季休業で、帰省等を計画している学生もいると思いますが、下記事項について慎重に考え、行動するようお願いします。特に本学は、介護等体験、教育実習など、教員養成大学として外部とのかわりによる教育活動が多いこともあり、特に高い意識で各自の行動を律してほしいと思います。

記

1. 帰省等については、以下の提言を踏まえ、適切に判断すること。

※ 「新型コロナウイルス感染症対策分科会」からの以下の提言を受け、文部科学省から大学に周知依頼が来ています。学生の皆さんは、この提言はもちろん、各自治体が発信している情報を踏まえ、適切に行動してください。

【提言】

もうすぐお盆休みです。多くの方が帰省をお考えになっているかと思います。お盆休みに帰省した場合、高齢者と接する機会や飲酒・飲食の機会も多くなることが考えられます。したがって、新型コロナウイルス感染が広がっている現状では、帰省する場合には、「基本的感染防止策（手指消毒やマスク着用、大声を避ける、十分な換気など）」の徹底や三密を極力避けるとともに、特に大人数の会食など感染のリスクが高い状況を控えるなど、高齢者等への感染につながらないように注意をお願いします。

そうした対応が難しいと判断される場合には、感染が収まるまで当分の間、オンライン帰省を含め慎重に考慮していただきたいと思います。また、そもそも、発熱等の症状がある方は、帰省は控えて下さい。感染リスクが高い場所に最近行った方は、慎重に判断して下さい。

2. 公認・非公認を問わずサークル等の諸活動については、大学（学生支援課）に届け（計画書）を提出し点検を受け、感染防止対策を実施するとともに、福岡県の感染状況等についての情報を踏まえ、状況に応じて、活動の中止や縮小などの措置をとること。